

平成29年度 教育発達科学研究科・教育学部留学生相談室活動報告

国際教育交流センター教育交流部門

谷口紀仁

1. はじめに

平成29年度における国際教育交流センターおよび教育発達科学研究科・教育学部における業務に関する報告を行う。

2. 留学生相談室業務の概要

留学生に関連する相談者の相談業務対応件数は1,017件であった。具体的な業務内容の件数は、下記の表のとおりである。

平成29年度 相談業務対応件数	
入学・研究生問い合わせ	946
チューター関係	19
教員による相談／教員との相談	17
就職・進路・学位	17
奨学金／授業料	6
日本語	5
宿舍・保証関連	5
在留資格	2
合計	1,017

対応件数のほとんどを占める「入学・研究生問い合わせ」は、主に研究生の入学出願希望者への対応である。研究生の出願は年2回あるが、受入希望教員への直接の連絡という形はとらず、留学生相談室にて出願希望者への出願方法の案内、事前の出願書類の確認、Skype インタビュー、国際交流委員会における予備審査を実施している。

研究生の出願に際して、学生が直接、希望する教員

に連絡することで、教員が対応に苦慮することが続いたため、研究生受入基準の明確化及び願書審査過程の標準化を行った。また、ウェブサイトを改善し、正確な留学生受入情報の発信に努めた。

「入試・研究生問い合わせ」以外は、国際教育交流センターアドバイジング部門の協力もあり、日本における社会生活の適応や就職・進路関係の相談などは減少傾向にある。

3. 学部・研究科内の留学生関連及び国際交流関連業務

新入留学生に対するガイダンスや奨学金の部局推薦の選考、国費留学生の受入業務、私費留学生選抜試験、日本語添削事業の運営等に加え、国際交流委員会の委員として国際交流関連業務に携わった。

4. 全学の留学生関連業務

全学業務では留学生住居問題（機関保証、引っ越しオリエンテーション等）に従事した。大学による機関保証終了に関して、引っ越しオリエンテーションを実施し、留学生に周知徹底を図った。

また、国際交流会館のレジデントアシスタントの研修に従事し、防災交流会（8月～11月）、一橋大学等と大学生教育のための学生寮関係者会議（学生指導等を担当、10月）やフィードバック面談（12月～1月）を実施した。